

南日本新聞

日	月	火	水	木	金	土
24	25	26	27	28	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

3月25日(月)

旧暦2月14日 先負

発行所：(郵便番号890-8603)
鹿兒島市与次郎1丁目9番33号
南日本新聞社
電話 099-813局
社会部 5121 | 政経部 5116
文化部 5136 | 運動部 5151
経済部 5144 | 写真部 5155
生活部 5172 | 論説委 5101
ひろば・読者室 5110
NIE支援・読者センター 5004
フォトサービス 5003
広告営業本部 5063
販売推進本部 5040
事業本部 5052
経営企画局 5030
総務部 5001

最期に備えて ⑥

周囲に迷惑を掛けない

亡くなった80代男性の部屋では、食べ物よりも多くの骨董品が見つかった。収集が何よりの趣味だった。70代女性が最期を迎えた部屋には、きれいに分別されたゴミの袋が高さ1メートルに積み重ねられていた。「体調が悪く捨てられなかったのだらう」

志布志市で遺品整理業ライジングサンを経営する黒木克さん(45)は、これまでさまざまな現場

鹿兒島 老い生き

第4部

遺品整理は本人の死後、遺族や行政が連絡してくるケースがほとんどだ。だが、万が一に備えて業者と生前契約を結ぶ人もいる。

遺品整理



部屋に飾った宝物のサイン入りボールを眺める平田裕子さん
＝南九州市

年前、遺品整理などを手がける鹿兒島市の「安心サポートセンター」に登録した。登録料金は発生せず、亡くなった後の作業を終えて料金が発生する仕組みだ。できる限り、故人の意向に沿った遺品の分別をしてもらえる。平田さんは30代で夫と離婚し、子どもはいない。「自分の遺品はどうすればいいか」と悩む人が増えている。北海道千歳市に2011年秋、遺品整理士認定協会が発足した。遺品の廃棄や管理に関する明確な基準がなく、高額な料金設定や遺品の不法投棄といった問題が起きたため、一定のモラルが必要になったのだ。

黒木さんによると、遺品整理にかかる費用は遺品の量などによって異なるが、2DKで15万円ほどかかる。県内には、生前契約できる業者はまだ少ない。既に導入している業者には、契約と見積もりが無料のところや、事前に幾らかの預かり金を受け取るというところがあるという。黒木さんの会社では生前契約は受け付けていないが、「潜在需要は大きい」と話した。

同協会は同年、遺族への接し方や廃棄物処理の関係法令を学ぶ通信講座を開始。基準を満たした人を「遺品整理士」に認定する。これまでに全国で約6千人が受講し、鹿兒島県内でも約20人が認定されたという。

同協会の小根英人副理事長は「今後は生前契約や整理の需要が伸びていくとみられる。一定のモラルやノウハウの浸透が必要だろう」と話した。